

会 議 録

会議名 (審議会等名)	第5回中央地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)	中央区役所 中央6地区まちづくりセンター 電話042-707-7049 (直通)		
開催日時	令和5年2月14日(火) 18時00分～19時10分		
開催場所	中央公民館大会議室		
出席者	委員	17人(別紙のとおり)	
	その他	0人	
	事務局	3人(中央6地区まちづくりセンター所長ほか2人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
議 題	1 開 会 2 議 題 (1) まちづくりを考える懇談会の振り返りについて (2) 中央地区の課題に対する取り組みについて ・中央地区公園プロジェクトチームからの報告 (3) 令和4年度の実績報告及び令和5年度の会議計画について 3 その他 (1) 令和5年度の各団体からの委員推薦について (2) 令和5年度公募委員の募集について 4 閉 会		

議 事 の 要 旨

主な内容は次の通り。(○は委員の発言、●は事務局の発言)

1 開 会

鈴木会長より、あいさつをした。

2 議 題

(1) まちづくりを考える懇談会の振り返りについて

鳥海副会長の進行のもと、1月26日(木)に開催した中央地区まちづくりを考える懇談会」についての振り返りを行った。

〈鳥海副会長総括〉

当日の懇談会は、皆様にご協力いただき円滑に進行することが出来た。改めて御礼申し上げます。今回の懇談会では、時間の制約もある関係でテーマを「地域防災」の一つに絞り開催した。当日は委員の皆様も積極的に発言いただき、市からも回答があったところだが、皆様それぞれ感じることもあったかと思うので、本日そうしたことを話し合った中で懇談会の成果についてまとめていきたい。

また、市の回答の中で、2月26日(日)に開催される中央区役所地域振興課主催の「防災フェスティバル」の話があった。今回、色んな課題や意見が出たかと思うが、様々な団体と連携協力して、中央地区でも同様の取組が出来れば、非自治会員等からの担い手の確保など、それなりの効果が出てくるのではないかと感じた。

また、要援護者支援については、色々な制約はあるが、様々な団体と連携して名簿の共有ができればよい。このことについては、今後も検証を続けていきたい。

〈主な意見・質疑〉

○事前の質問に関しては、総じてもっともなことを回答していたかなという印象だった。

○広報に関する市の回答としては、市として課題は認識しているが、対策は進んでいないという印象を受けた。

○懇談会の中で中央地区防災ガイドに関する話があったが、どのように進めていくつもりか。

⇒○まだ具体的に考えているものはないが、次年度に地域活性化事業交付金を活用して、見直しなどの取組を進めていきたいと考えている。

○災害時要援護者避難支援事業について、中央地区内でも1自治会しか市と協定を締結しておらず、中央区内全体で見ても締結数は少ない状況を鑑みると、協定締結以前の問題かと思う。課題はたくさんあると思うので、名簿の共有化に向けて、

民児協としても検証をしっかりと行っていきたい。

○市の回答を聞いて、名簿の共有化については色々と制約や労力が必要だと感じた。以前、地区社協が高齢者のための「安心ケース」を作成したと思うが、たとえば、今後同様の取り組みを行う場合、あらかじめ、「安心ケース」の配布者に対しては「各関係団体で情報の共有をさせていただく」という同意を得ておけば、要援護者に対する同意という面では対応が出来る気がした。

○以前「安心ケース」の保有状況等確認をしたら持っていない人も結構いて、活用もされていなかったことから、やめようという話になった。

○「安心ケース」については、作成以降、全くフォローしていなかったことから、民児協として2年前に実態調査を行った結果、十分な活用がされていない実態が分かった。しかし、再度、当事業を進めようとする多くの労力が掛かるため、それ以降の話は進んでいない。

○消防と話をした時に、服薬やかかりつけ医などが記載された「救急カード」があれば大変助かるという話があった。なので、このようなカードを用意するだけでも効果はあると思う。

○「安心ケース」は社協で名簿を作成している。しかし、転出や死亡などの更新がされていないため、情報が古いままとなっている。

○「安心ケース」は中央地区のみの取り組みのため、その情報を消防に提供したところで緊急時に活用されるかどうかは分からない。

○介護施設と地域が合同で防災訓練を行うことについて質問されたが、市の回答はどのように受け止めたか。

⇒○中央区長からは何かあればご相談くださいとのことなので、今後、必要に応じて相談させてもらう。

○避難所倉庫の防災備蓄品に関して質問されたが、市の回答はどのように受け止めたか。

⇒○まずは、実情が分かったことは成果と思う。みなさんも各地区に戻った時に、避難所倉庫の防災備蓄品を点検してもらいたい。訓練等の際に古い資機材を確認した場合には、都度、更新をしているとのことなので、是非、みなさんも訓練時に点検をしていただき、更新が必要なものについては、その場に立ち会う避難所担当職員等に伝えていってほしい。

○避難所担当職員に伝えても中々話が進まないケースが多いため、今回のまちづくりを考える懇談会で市長の耳に入ったことは、一つの成果といえるのではないか。

○コミュニティの希薄化に関する質問に対する市の回答はいかがか。

⇒○具体的な回答はなかったという印象だった。市からは、地域の担い手として、若者を発掘していくという話だが、では、誰がその発掘を担っていくのかが不明確だった。

⇒○行政は縦割りのため、このような回答になってしまう部分もあると思う。一方で、地域は横のつながりのため、様々な団体を通して若い世代に働きかけることはできると思う。

○議事録は作成されるのか。

⇒●議事録は現在作成中である。作成でき次第、送付させていただく。

○そもそも、大規模災害（地震）が起きた場合に、誰が地域の見回り対応してくれるのか。

⇒○過去の災害時の事例をみると、市や警察、消防等の公助で救出されている事例はわずかであり、ほとんど市民同士の共助で救出されている。基本的には、自治会や各地域の自主防災隊などになると思う。

○今回の地域防災に関する話もそうだが、基本的に健常者目線の議論だと思う。しかし、地域には様々な障害を持っている人が住んでいると思うが、こうした会議の結果は、障害者等を扱う部署にも届いているのか。

⇒●ケースバイケースになるかと思う。必要に応じて送付することもあるが、常時ではない。まちづくり会議の議事録でいえば、全て市ホームページ上で公開しており、また、文書としていつでも誰でも閲覧できる状態にはある。

〈結果〉

総じて、市から具体的な回答までは引き出せなかったが、市長はじめ市幹部とまちづくり会議の間で課題について認識の共有を図ることができた。今後、まちづくり会議としても課題に感じている点については、市の対応も注視の上、検討していくこととなった。

(2) 中央地区の課題に対する取り組みについて

中央地区公園プロジェクトチームから進捗状況及び今後の展望について報告があった。

〈報告内容〉

○令和4年度はまちづくり会議内の中央地区公園プロジェクトチームから派生した学校の校庭で遊ぼう実行委員会として活動し、今年1月21日（土）に実質第2回目の学校の校庭で遊ぼう事業を実施した。当日は、前回と同じく午後1時から富士見小学校校庭で実施し、ボッチャ、サッカー、ドッジボールの3種目を行い、名簿に名前を書いていた参加者だけで76名、また、書かない人もいたので、おそらく80名前後くらいは参加したと思う。今年度を通して、6月、9月（雨天のため中止）、1月と実施してきたところだが、昨今は子どもの遊び場が減少しているという課題の中で、本事業が子どもたちから一定の需要があったこと、

また、親子でも参加をしてきてくれたことを踏まえると、はじまりとしては結果は良かったものと受け止めている。そして、次年度以降だが、これについてはまだ実行委員会としてしっかりと話が出来ていないが、今年度のようにそれぞれ単発で実施するのではなく、年間スケジュールを組んだ中で周知を図っていかねばと考えている。また、今年度は富士見小学校のみで実施したが、可能であれば、中央小学校や弥栄小学校をお借りして、将来的に実施することができれば素晴らしいことだと考えている。総じて、年間を通しての富士見小学校での開催と、中央小学校及び弥栄小学校での開催を目指して活動していくことができれば望ましいと考えている。

○別件だが、富士見小学校5年2組との交流が進んでいる。今年度、総合的な学習の時間でこれまで2回ほど公園の清掃を行ってきた。そして、次回は2月24日（金）に富士見公園で実施する予定である。生徒の思いとしては、やはり地域の人に喜んでもらいたいとか、公園を綺麗にしたいという気持ちでやっており、それを感想文にしてまとめているようである。また、先ほど報告のあった学校の校庭で遊ぼうの件だが、次年度は、まちづくり会議の中のプロジェクトではなく、会議とは別に実行委員会が主体となって動くというスタイルにしていきたいと考えている。

〈主な意見・質疑〉

○本日で令和4年度のまちづくり会議は最後となるが、まちづくり会議の中で議論して、未着手のまま残っている課題については、どのように整理したらよいか。
⇒●令和4年度の会議自体は今回で終了となるが、委員の任期は4月末まで残っているため、継続案件等あれば個別にご相談いただき、必要に応じて各委員にも声を掛けさせていただきながら対応したい。

(3) 令和4年度の実績報告及び令和5年度の会議計画について

事務局から資料に沿って、令和4年度の中央地区まちづくり会議の実績報告及び令和5年度の会議計画について説明した。また、役員（案）として、令和5年度の中央地区まちづくり会議の取組みとして、今年度、星が丘地区で開催が予定される中央区役所地域振興課主催の防災フェスティバルを中央地区で開催・検討する旨の提案がなされた。

〈主な意見・質疑〉

○今回の（案）では、中央地区で開催するとした場合、「中央地区まちづくり会議」と「中央区役所」の共催ということだが、他の自治会連合会や社会福祉協議会等もまちづくり会議と同じ立ち位置で、様々な団体と協働してやってもいいのでは

ないか。

⇒●まちづくり会議自体が様々な団体に構成されていることを踏まえて、令和5年度はまちづくり会議が主体となって企画・検討を進めていきたいと考えている。ただ、実際に事業実施にあたって、他の団体も多く関わって協力してやっていけるのであれば、区役所としても喜ばしいことだと思う。

〈結果〉

令和5年度の中央地区まちづくり会議では、中央区役所と協働して「防災フェスティバル」を企画・実施していくことを了承された。

3 その他

(1) 令和5年度の各団体からの委員推薦について

事務局から資料に沿って、令和5年度の各団体からの委員推薦を、令和5年4月21日（金）までに行っていただくよう依頼した。

(2) 令和5年度公募委員の募集について

事務局から資料に沿って、令和5年度の公募委員の募集について、公募委員に募集される方については、令和5年3月31日（金）までに応募申込書を提出いただくよう説明した。

4 閉会

岡本副会長より、閉会のあいさつをした。

令和4年度 中央地区まちづくり会議委員名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	鈴木 泰信	中央地区自治会連合会	会 長	出席
2	館脇 智幸	中央地区自治会連合会		欠席
3	鳥海 千秋	中央地区社会福祉協議会	副会長	出席
4	八木 憲哉	中央地区民生委員児童委員協議会		出席
5	熊沢 憲一	中央地区老人クラブ連合会		欠席
6	岡野 博	中央地区青少年健全育成協議会		出席
7	松田 正則	中央地区健康づくり普及員協議会		出席
8	東使 敏二	中央地区防犯協会		出席
9	増田 勝也	交通安全協会		出席
10	武田 守弘	中央地区連合自主防災隊		出席
11	松本 勇作	中央小学校 PTA		出席
12	石神 仁	弥栄小学校 PTA		出席
13	佐藤 匠	富士見小学校 PTA		出席
14	岡本 和茂	中央公民館	副会長	出席
15	浦上 裕史	中央地区内商店街		出席
16	澤畔 正裕	中央地域包括支援センター		出席
17	倉澤 良明	公募委員		出席
18	小澤 隆宏	公募委員		出席
19	中里 良治	公募委員		出席